

サプライチェーン研究会 2012年度 第4回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：2012年12月4日(火) 18:00～20:00
- (2) 場所 所在地：富士通総研 本社事務所 (ニューピア竹芝サウスタワー) 11F
会場名：来賓D
- (3) 今回の議長役：吉田
- (4) 議事録作成者：阿部
- (5) 出席者 (敬称略)：麻生、奥村、金井、小山、佐藤、橋本、吉田、阿部
欠席者 (敬称略)：伊藤副理事、小友、久野、廣本、寅屋敷、永木、前田、服部、森
- (6) 主要な決定事項
 - ① 次回会合では、事業継続能力評価における他社事例 (公開済み) について議論する。
- (7) 次回開催予定
 - ① 開催日時：未定 (別途、候補日を提示し検討)
 - ② 場所：開催日時が決定次第、通知する。
- (8) 配布資料
 - ① 前回議事録 (20121001 開催:第3回サプライチェーン研究会) (阿部)
 - ② 調達戦略の見直しについて (FRI)
 - ③ 富士通におけるサプライチェーン BCM 強化の取り組み (FRI)

2. 議事内容

「テーマ2. サプライヤに対する BCM 調査 (アンケート)」について

- (1) 富士通におけるサプライチェーン BCM 強化の取り組みを題材に議論した。
 - ・ サプライヤはどの程度まで調査する必要があるのか。
⇒Tier2 まででは把握し BCM 強化を図る必要があると考える。
⇒素材メーカーなどはどのサプライヤから仕入れしているかは
企業機密となるので、教えてくれない。
⇒発注元とサプライヤの力関係により、どの階層まで把握できるかも違う。
(自動車メーカーなどは階層深くまで把握可能)
 - ・ 業界により、どこまで把握するか (どこまで把握できるか) は違う。
 - ・ 重点取引先とは全サプライヤにおいてどの程度の割合か。
⇒富士通では、社数として70%程度、売上額はその社数で90%を占める。
 - ・ サプライヤに BCM を強化するように依頼、もしくは BCM 調査を実施しても、理解が深まってないとうまく効果がでないのではないか。
⇒富士通では、BCM セミナーや BCP 策定講座、訓練などをサプライヤへ提供し、
理解を深めたうえで、サプライヤへの BCM 強化を推進した。
 - ・ 業界によっても、BCM 調査の内容などは違う。
⇒公開されている事例を調査して、次回の会合で議論する。

以上